



平成 26 年 5 月 26 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 免 疫 生 物 研 究 所
(コード番号：4570)
本店所在地 群馬県藤岡市中字東田 1091 番地 1
代 表 者 代表取締役社長 清 藤 勉
問 合 せ 先 取締役事業統括推進本部長 中 川 正 人
電 話 番 号 0274-22-2889 (代表)
U R L <http://www.ibl-japan.co.jp>

中期経営計画の提出等について

当社は、平成 27 年 3 月期～平成 29 年 3 月期に係る中期経営計画を策定いたしましたので、当該中期経営計画を記載した資料を提出いたします。

なお、以下のとおり、当該中期経営計画について、決算説明会（機関投資家向け）においてご説明いたします。

開 催 日 時	平成 26 年 5 月 27 日 13：30～14：30
開 催 場 所	野村証券株式会社 大手町本社 6 階 10 会議室

当該資料について、当社のホームページに掲載いたします。

U R L	http://www.ibl-japan.co.jp/jp/ir/index.htm
掲 載 日	平成 26 年 5 月 26 日

【添付資料】

「中期経営計画（連結）」の見直しに関するお知らせ

「中期経営計画(連結)」の見直しに関するお知らせ

当社は、平成 29 年 3 月期までの中期経営計画（連結）を見直しましたのでお知らせいたします。

1. 背景

（診断・試薬事業）

当社は、海外販売網を強化するため、海外担当部署を設置し、当社グループの強みであるアルツハイマー病、がん・炎症及び糖や脂質代謝関連疾患などに対する創薬研究に有用と考えられる製品を欧米中心に販売強化を行ってまいります。

また、自社製造の牛海綿状脳症に対する動物用体外診断用医薬品は、他社メーカーの撤退等によりほぼ独占的に当社の製品が使用されることになり、販売増加が期待されております。さらに、新規の体外診断用医薬品の開発においては、IBL International, GmbH（欧州）とのアルツハイマー病に対する診断薬の共同研究が順調に進んでおり、原料の販売増加が期待されております。

（遺伝子組換えカイコ事業）

当社は、カイコの繭から生産される有用なタンパク質を動物愛護の問題を受けずに安定して大量に供給できる体制を構築しており、その有用性を理解する医薬品関連企業等と医薬品及び体外診断用医薬品の原料供給のための共同研究や受託生産を行っております。

しかし、精製方法の見直しや規格化等の問題により体外診断薬企業への供給が遅れておりました。その問題もほぼ解決し次期以降に供給可能となりました。

（検査事業）

前連結会計年度に完全子会社となった株式会社スカイライト・バイオテックが所有する技術や販路を最大限活用し、当社グループが重要テーマとして取り組んでいる、糖や脂質代謝関連疾患などに対する製品開発や販売において相乗効果を発揮させてまいります。それにより、需要は、さらに増加が見込まれるため、設備等の投資を継続してまいります。

（化粧品関連事業）

カイコの繭からヒトコラーゲンを大量生産することに成功し、現在化粧品に配合されている水溶性コラーゲン（魚や豚等の異種タンパク質から生産されるコラーゲン）とは異なる、安全・安心なヒトコラーゲンを化粧品原料として、化粧品業界へ新規参入いたしました。

しかし、大手をはじめ、水溶性コラーゲンを使用している化粧品メーカーは、現状の水溶性コラーゲン含有化粧品を大量に化粧品市場で販売しております。そのため、安全・安心な化粧品原料「ネオシルク®-ヒトコラーゲン」の化粧品メーカーへの導入にはかなり時間がかかることが想定されております。当社は、「すべての化粧品にネオシルク®-ヒトコラーゲン」を実現するため、実験データを積み重ね、消費者の皆様や化粧品メーカーの皆様へ積極的に伝えてまいります。

また、当社の連結子会社で化粧品販売会社である株式会社エムコスメティックスの化粧

品製造の遅れにより、大手量販店をはじめ、海外との商談等を逸機し、販売開始が大幅に遅れました。さらに、販売戦略の再構築等により、売上額の規模を大幅に減少する見込みとなりました。

以上のことにより、平成 25 年 10 月 21 日公表の「新中期経営計画（連結）」の見直しをいたしました。

2. 指標

新中期経営計画（連結）

（単位：百万円）

	平成 27 年 3 月期	平成 28 年 3 月期	平成 29 年 3 月期
売上高	900	1,280	1,750
診断・試薬事業	570	630	700
遺伝子組換えカイコ事業	65	150	300
検査事業	195	350	500
化粧品関連事業	70	150	250
営業利益	10	200	350

- 注) 1. 「研究用関連事業」及び「医薬用関連事業」は、「診断・試薬事業」に統合しております。
 2. 「脂質代謝解析関連事業」は、「検査事業」へ名称を変更しております。
 3. 3年以内に現金化が想像されていて、上記の中期経営計画の数値に含めていない研究開発及び事業を次の通り実施しております。なお、現金化が見込まれる状況になり次第、中期経営計画の見直しを実施いたします。

【遺伝子組換えカイコ事業】

・アステラス製薬株式会社と、遺伝子組換えカイコを用いて生産されるヒト型タンパク質の医薬品への応用に向けて、有用なタンパク質について、製造方法の検討や評価、医薬品としての開発可能性の検討等を共同で実施しております。

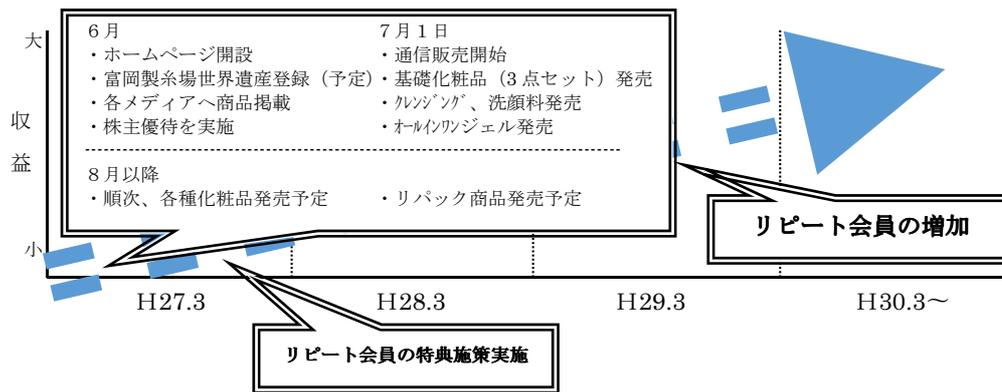


注) 検討・評価フェーズの結果により「医薬品用途での契約」の延期又は中止となる場合もあります。

【化粧品関連事業】

・「すべての化粧品にネオシルク[®]-ヒトコラーゲン」をスローガンに掲げております。

当社の保有するネオシルク[®]-ヒトコラーゲンの素晴らしさを消費者の皆様にご理解いただくために、直接消費者の皆様へ販売活動を行う株式会社ネオシルク化粧品を設立いたしました。



参考 (平成 25 年 10 月 21 日策定)

新中期経営計画(連結)

(単位:百万円)

	平成 27 年 3 月期	平成 28 年 3 月期	平成 29 年 3 月期
売上高	1,400	2,490	3,400
研究用関連事業	450	450	450
医薬用関連事業	120	190	220
遺伝子組換えカイコ事業	150	320	660
脂質代謝解析関連事業	280	500	570
化粧品関連事業	400	1,030	1,500
営業利益	80	300	500

以上